

【所信】LOM活性化への挑戦

【LOM活性化室 室長】三芳文彬

昨年、公益社団法人所沢青年会議所は暦を一周し、60年の節目を迎えました。集団主義的な時代に始まった過去と個人主義的な現代とでは、組織のあり方も異なる可能性があります。多様な価値観を受け入れる社会へと進歩した今日、社会に適応するためには私たち自身が総合的に成長していく必要があります。私はまた、60年後の所沢の青年経済人達が現代のメンバーと同じように、時代に適したアプローチや目標を持ち、自分がなぜ（公社）所沢青年会議所に所属し活動しているのかを自問自答し、挑戦できる機会を提供したいと思っています。

今回、私はLOM活性化の責務を預かることとなりました。まず、一年後にLOMがどのような状態にあれば活性化したと言えるのかを考えました。具体的な形で言えば、例会の出席率が最も重要な指標であり、分かりやすい結果です。アプローチの一環として、会議体の中核である理事会で、メンバーに寄り添い、意向を代弁できるよう努めていきます。加えて、委員会の垣根を越え、メンバー全体が主体的に事業を作り上げていくことが総合成長には重要です。メンバーとメンバーとの中を取り持ち、一体感の醸成を援助し、タスクの分散を促進させていきます。

また組織の成長には、困難な選択をすることが必要です。同時にメンバーの存在と積極性、新入会員の拡大が組織を成り立たせるためには欠かせません。成長には、時代の変化を意識し、組織への帰属意識と愛着を育むことが重要です。そのためには、個々のメンバーを尊重し、それぞれが大切にしている価値観や信念をLOM全体で同じように大切にしていかななくてはなりません。

私たちは、何事にも情熱を注ぎ、事業に全力で取り組む意欲を持っています。その情熱をメンバーにも向けることが組織の更なる成長の道筋と信じ、未来を見据えたLOMの活性化に邁進してまいります。